

2026 年 8 月 31 日

9 月 30 日（水）閉館、37 年の歴史に幕 相鉄ムービル閉館セレモニーを開催 ご愛顧いただいた全ての皆さまに感謝をお伝えします

株式会社相鉄アーバンクリエイツ
株式会社相鉄ビルマネジメント

相鉄グループの(株)相鉄アーバンクリエイツ（本社・横浜市西区、社長・左藤 誠）と(株)相鉄ビルマネジメント（同）は、2026 年 9 月 30 日（水）、「相鉄ムービル（相鉄南幸第 2 ビル）」（横浜市西区南幸、以下、同ビル）の閉館セレモニー（以下、同セレモニー）を開催します。

同ビルは、9 月 30 日、横浜駅西口のシンボルとしての 37 年の歴史に幕を閉じます。これまで 37 年にわたりご愛顧いただいたお客さまへ感謝の気持ちを込め、最終日に同ビル内劇場「ムービル 4」にて『ニュー・シネマ・パラダイス』を上映し、上映終了後に同セレモニーを開催します。

同セレモニーでは、支配人による挨拶の他、相鉄ムービルが紡いできた象徴的なシーンを描くパフォーマンス「サンドアートで描く MOVIL」や、お客さまから寄せられたメッセージ、過去の相鉄ムービル写真のスライド上映を予定しています。また、同セレモニーにご参加いただいたお客さまには、『RE:MOVIL』ロゴのデザインを入れたミニタオルなどの記念品を進呈します。

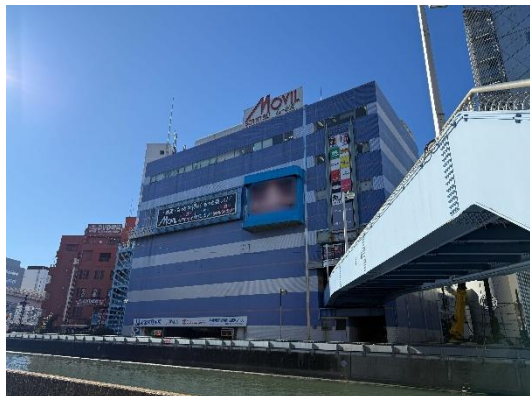
■相鉄ムービルより、皆さまへメッセージ

相鉄ムービルは、最後までお客さまへ感謝の気持ちをお届けするとともに、これからも、心に残る思い出の場であり続けることを願っております。

また同ビルでは、2026 年 7 月中旬から 9 月 30 日の期間中、閉館イベント『RE:MOVIL -Final Cut & First Action- ～37 年の物語、その先へ～』を実施しています。館内のさまざまな場所を舞台に、クリエイターたちがそれぞれの“物語”を展示・発表しています。

さらに、閉館後の 10 月 3 日（土）・4 日（日）には、同ビル最後の映画祭や館内各所でのストリートライブなど、多様な表現が交差する「Story Crossing ArtFes」を開催します。

概要は別紙のとおりです。



37 年の歴史に幕を閉じる「相鉄ムービル」（外観）

相鉄ムービル閉館セレモニーの概要

1. 開催日時

2026年9月30日(水) 18:30~19:00(予定)

※『ニュー・シネマ・パラダイス』の上映は、16:00~を予定しております。

2. 場所

相鉄ムービル(相鉄南幸第2ビル) 内劇場「ムービル4」

3. 内容

(1) ㈱相鉄アーバンクリエイツ・㈱相鉄ビルマネジメント
代表取締役社長 左藤 誠 挨拶(ビデオメッセージ)

(2) ㈱東急レクリエーション
ムービル支配人 泉 慎太郎 挨拶

(3) サンドアートで描く MOVIL
“過去の思い出”と“未来へのメッセージ”を軸に
相鉄ムービルが紡いできた象徴的なシーンを描くア
ートパフォーマンス「サンドアート」を実施します。

(4) スライドによるお客さまからのメッセージ紹介
過去の相鉄ムービル写真のスライド

(5) 記念品配布
・オリジナルミニタオル
『RE:MOVIL』ロゴのデザインを入れたミニタオルを配布します。
・オリジナルフレグランスカード
相鉄ムービルに関連する情報や、一般の皆さまから募集した思い出
などをAIで分析、香りとして精製した唯一無二のフレグランスをお
届けします。

※閉館セレモニーにご参加いただいた方だけの配布となります。

4. 参加方法

ムービルの最終上映『ニュー・シネマ・パラダイス』をご鑑賞の全てのお客さまが参加いただけます。

○チケット販売スケジュール

9月18日(金) 0:00よりムービル公式ウェブサイトにてチケット販売開始

<https://109cinemas.net/movil/>

※シネマポイント会員は、9月17日(木) 21:00~ 購入可能

○チケット料金

一般・大学生・シニア 1,300円(税込)

高校生以下 1,000円(税込)

5. 主催

株式会社相鉄アーバンクリエイツ/株式会社相鉄ビルマネジメント

6. 協力

株式会社東急レクリエーション



サンドアートで描く MOVIL (イメージ)



オリジナルミニタオル
(イメージ)

「Story Crossing Art Fes」の概要

1. 開催期間

10月3日（土）・4日（日）

2. 場所

相鉄ムービル（相鉄南幸第2ビル）

3. 内容

相鉄ムービル閉館後2日間限定で、アートの祭典「Story Crossing Art Fes」を開催します。

相鉄ムービル館内のさまざまな場所を舞台に、クリエイターたちがそれぞれの“物語”を展示・発表。アート、ZINE、音楽、ファッション、映画、マンガなど多種多様な表現が「物語」を軸に交錯します。

来館者は館内を巡りながら、多様な作品や人との出会いをお楽しみいただけます。

※アートフェスのフィナーレを飾る音楽ライブは、8月31日（月）14:00よりチケット販売を開始します。

https://livepocket.jp/e/removil_finallive

4. 主催

株式会社相鉄アーバンクリエイツ／株式会社相鉄ビルマネジメント



閉館までのイベントの概要

○参加型企画

(1) 「私のムービル物語」デジタルメッセージ公募

募集期間：5月29日（金）～9月23日（水）

皆さまの相鉄ムービルでの思い出メッセージや写真を募集します。寄せられたメッセージや写真はウェブサイトなどで掲載いたします。

(2) MOVIL 写真展「一緒に歩んだ37年」

展示期間：7月20日（月）～9月30日（水）予定

相鉄ムービルの歴史を写真、映像、チラシでたどる展示を館内オープンスペースにて展示します。

(3) MOVIL デジタルスタンプラリー・オリジナルガチャ

開催期間

デジタルスタンプラリー：8月1日（土）～9月30日（水）

オリジナルガチャ販売：9月1日（火）～9月30日（水）

相鉄ムービルと館内店舗のロゴをあしらった記念ガチャを館内に設置します。

また、館内を周遊するデジタルスタンプラリーも開催中です。

○壁面マンガ連載

(1) 壁面マンガ連載：『週刊M0 ～ムビィの大活劇』

連載期間：7月～9月30日、10月3日・4日

相鉄ムービル壁面が「週刊マンガ雑誌」となる3カ月間！

かわいいキャラたちが世界の危機に立ち向かう物語を、館内各所の壁面に描き、連載していきます。

閉館という節目に、別れの先にある新しい始まりを重ね、この場所から未来へつながる物語を描きます。

(2) ZINE※マンガ連載：『月刊コミックムービル ～海なんて見えないヨコハマ』

連載期間：7月～10月上旬

横浜駅西口を舞台に、人生の再起動と創作の苦悩と喜びを描く新作ドラマを連載。

横浜駅近辺で配布されるZINE※や相鉄ムービル公式サイトに掲載します。

※ZINEとは、自由なテーマや形式で制作し、自主発行している小冊子です。企画・制作を一般社団法人ツクリバ編集室が行い、7月から相鉄ムービルや相鉄ジョイナスなどでの配布をしています。



9月30日まで開催している
閉館イベントのビジュアル

○公式ウェブサイト

<https://www.sotetsu-movil.com/>

X：相鉄ムービル【公式】

<https://x.com/sotetsumovil>

Instagram：相鉄ムービル【公式】

https://www.instagram.com/sotetsu_movil/

Youtube：相鉄グループ【公式】 相鉄ムービル閉館イベント

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYyJ1P3GTE0E>



公式ウェブサイト



公式 X



公式 Instagram



公式 Youtube

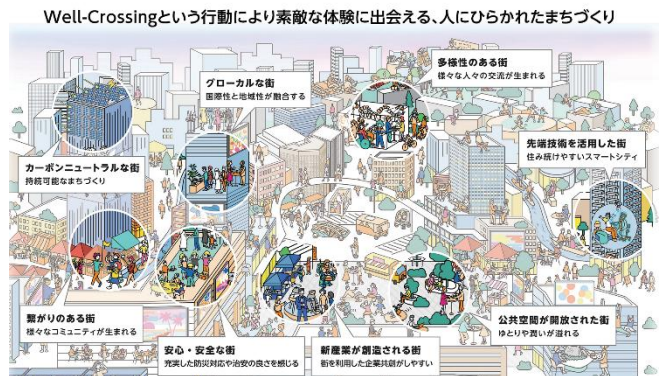
相鉄ムービル（相鉄南幸第2ビル）の概要

1. 建物
鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階建て
2. 所在地
横浜市西区南幸二丁目1番22号
3. 開業
1988年11月12日
4. 延床面積
13,571.06㎡
5. 閉館日
2026年9月30日
6. テナント数
15店舗（2026年8月現在）
7. 運営会社
株式会社相鉄ビルマネジメント

横浜駅西口大改造構想とは

相鉄グループでは、2024年9月に「横浜駅西口大改造構想」を発表しました。この構想は、開発を始めてから70年以上が経過した横浜駅西口周辺を、新しい時代にふさわしい都市に生まれ変わらせようというもので、地域の皆さまや行政機関とともに新しい街の創造を目指していきます。

構想では横浜駅西口の強みであるターミナル性と繁华性に「Well-being＝豊かさ」を加えた「Well-Crossing」というコンセプトを掲げて、国際競争力を持った魅力的な街づくりを進めます。再開発は2026年以降2040年代までの間で実施していく予定です。



相鉄グループの GREEN×EXPO 2027 Village 出展について

相鉄グループは、2027年3月19日(金)から開催される「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)」のKids Village (キッズビレッジ) にて、「SOTETSU PARK (そうてつぱーく)」を出展します。

SOTETSU PARK のコンセプトは「ともだちとすみか」。「ともだち」は、ひとをはじめ身近に暮らす生きもの、「すみか」は、生きものそれぞれに適した住処を指し、生物と自然が影響を及ぼし合いながらも調和して暮らすフィールドを表します。子どもたちが「ともだち」に出会い、「すみか」で遊びながら触れていくことで、身近な生きものや自然を知り、守るアクションにつなげていくことを目指します。

